

**FP0H シリーズ
EtherNet/IP 接続手順書**

**CKD 株式会社製
電動アクチュエータ用コントローラ
ECG-A シリーズ**

memo

概要

本資料は、CKD 株式会社製 電動アクチュエータ用コントローラ ECG-A シリーズの EtherNet/IP 通信ユニットと、パナソニック インダストリー製 プログラマブルコントローラ FP0H シリーズのコントロールユニットを EtherNet/IP で接続する手順とその確認方法を説明したものになります。

マニュアルの種類

本資料で使用する機器に関するマニュアルは、下記の通りです。

マニュアル名	マニュアル記号	メーカー
FP0H ユーザーズマニュアル（基本編）	WUMJ-FP0HBAS-14	パナソニック インダストリー 株式会社
FP0H ユーザーズマニュアル（Ethernet/IP 編）	WUMJ-FP0HEIP-061	パナソニック インダストリー 株式会社
ECG シリーズ 電動アクチュエータ用コントローラ EtherNet/IP 取扱説明書	SM-A40833/5	CKD 株式会社
EBS-G シリーズ/EBR-G シリーズ 電動アクチュエータ スライダタイプ/ガイド内蔵形ロッドタイプ 取扱説明書	SM-A28054/2	CKD 株式会社
電動アクチュエータ用パソコン設定ソフト S-Tools 取扱説明書	SM-A11147/6	CKD 株式会社

著作権及び商標に関する記述

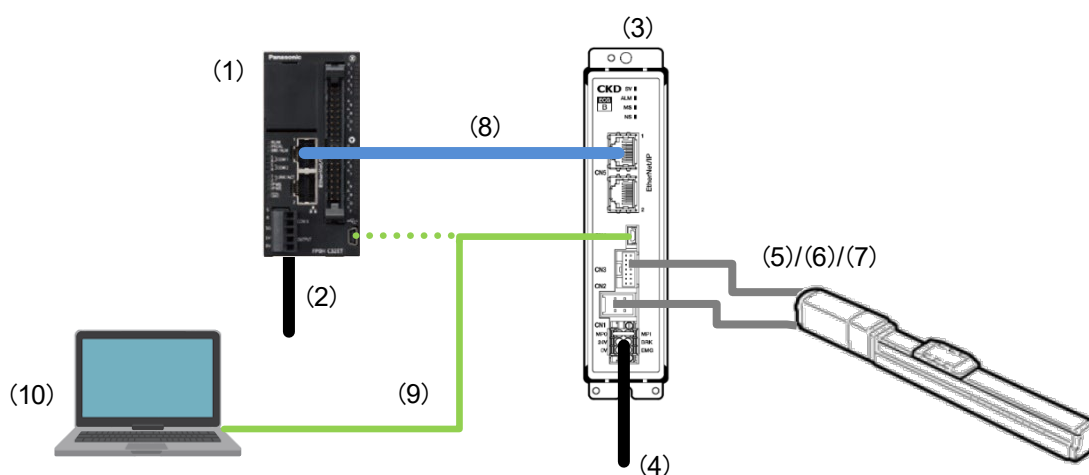
- このマニュアルの著作権は、パナソニック インダストリー株式会社が所有しています。
- 本書からの無断複製は、かたくお断りします。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Ethernet は富士フイルムビジネスソリューション株式会社および米国 Xerox Corporation の登録商標です。
- EtherNet/IP は、ODVA（Open DeviceNet Vendor Association）の登録商標です。
- その他の会社および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

概要	1
マニュアルの種類	1
著作権及び商標に関する記述	1
1. システム構成	3
基本構成	4
ネットワークパラメータ	5
EDS ファイルのダウンロード	5
2. EtherNet/IP の通信設定	6
ECG-A コントローラ通信ユニットの設定	7
設定ソフト S-Tools の起動	7
IP アドレスと EtherNet/IP の設定	9
FP0H コントロールユニットの設定	13
FP0H でのアドレス割り付け	13
ツールソフトの起動	15
IP アドレスの設定	17
EtherNet/IP の設定	19
プロジェクトデータのダウンロード	26
3. EtherNet/IP 接続確認	28
動作表示灯による確認	29
ECG 動作表示灯の確認	29
FP0H 動作表示灯の確認	29
入力のモニターによる確認	30
出力制御による確認	32
サーボ ON 操作	32
サーボ OFF 操作	34

1. システム構成

基本構成



	名称	型式	メーカー
(1)	FP0H コントロールユニット	AFP0HC32ET ※1	パナソニック インダストリー 株式会社
(2)	電源ケーブル	AFPG805	パナソニック インダストリー 株式会社
(3)	ECG-A コントローラ	ECG-ANNN30-EN ※2	CKD 株式会社
(4)	通信ユニット/ドライブユニット用電源ケーブル	—	—
(5)	モータケーブル	EA-CBLM	CKD 株式会社
(6)	エンコーダケーブル	EA-CBLE	CKD 株式会社
(7)	電動アクチュエータ	EBS-G	CKD 株式会社
(8)	LAN ケーブル	—	—
(9)	USB ケーブル (USB A-mini B)	—	—
(10)	パソコン ・ Control FPWIN GR7S インストール済み ・ S-Tools インストール済み	— ※3 ※4	—

※1 本資料では、FP0H コントロールユニット Ver1.90 を使用し、スキャナ機器として動作します。

※2 本資料では、ECG-A コントローラ Ver2.1.1 を使用し、アダプタ機器として動作します。

※3 本資料では、Control FPWIN GR7S Ver2.32.2 を使用します。

※4 本資料では、S-Tools Ver1.05.08.00 を使用します。

ネットワークパラメータ

本資料では、EtherNet/IP の通信に関するパラメータとして、下記の設定を使用します。

・ FP0H コントロールユニット

項目	設定値
IP アドレス	192.168.1.5
サブネットマスク	255.255.255.0

・ ECG-A コントローラ

項目	設定値
IP アドレス	192.168.1.10
サブネットマスク	255.255.255.0
動作モード	PIO

EDS ファイルのダウンロード

EtherNet/IP の通信設定にはスキャナ機器にアダプタ機器の EDS ファイルを登録する手順があります。

一般的に、EDS ファイルはアダプタ機器のメーカーから入手することが可能です。

アダプタ機器である ECG-A コントローラ の EDS ファイルを CKD 株式会社のホームページより入手してください。

ダウンロード後、ZIP ファイルを解凍し、下記のファイルを任意のフォルダに保存してください。

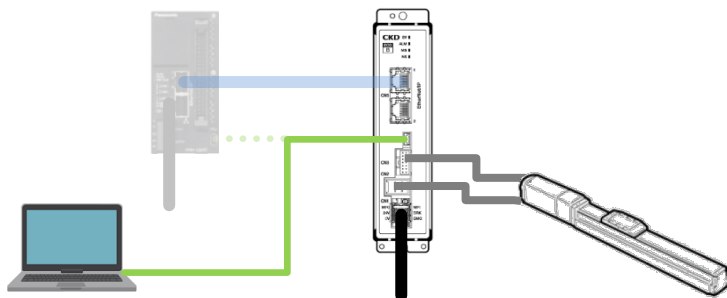
・ EDS ファイル : ECG-ANNN30-EN.eds

2. EtherNet/IP の通信設定

ECG-A コントローラ通信ユニットの設定

設定ソフト S-Tools の起動

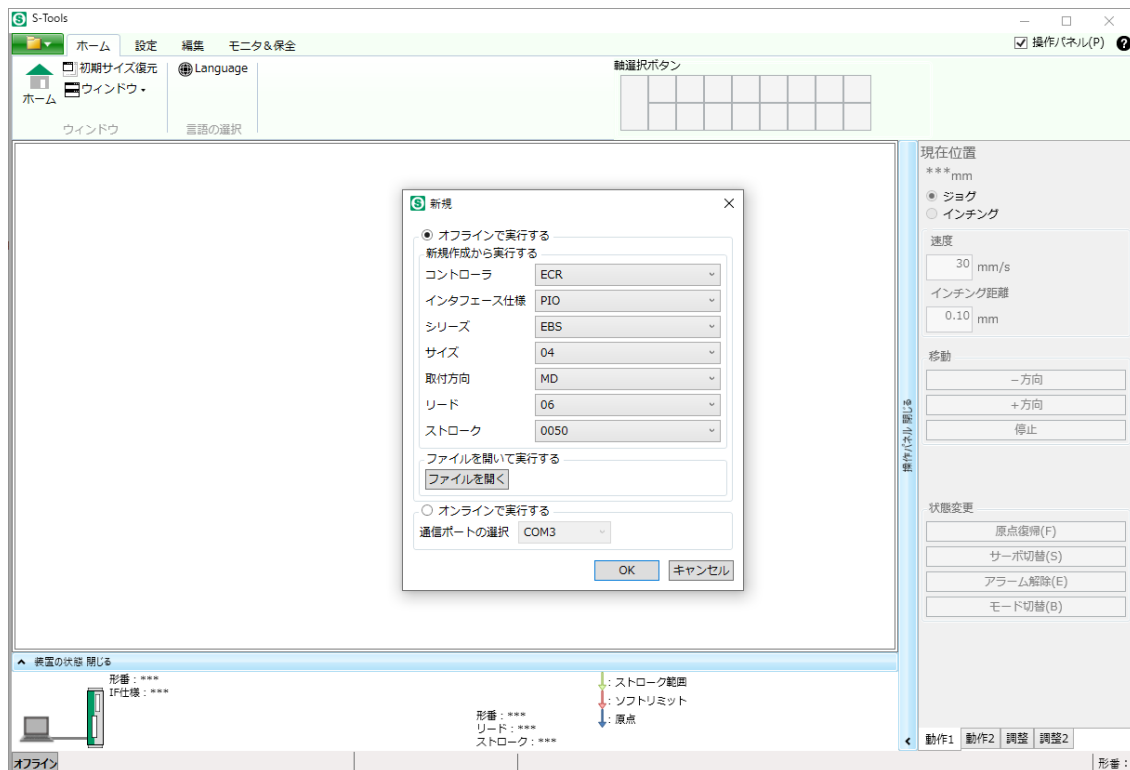
1. 下記の接続が問題ないことを確認し、電源を ON します。
 - ・ ECG-A コントローラと電源を接続します。
 - ・ 電動アクチュエータを接続します。
 - ・ パソコンと ECG-A コントローラを接続します。



2. S-Tools を起動します。



3. S-Tools が起動し、画面中央に新規作成ダイアログが表示されます。



4. 「オンラインで実行する」にチェックを入れ、「通信ポートの選択」で ECG-A コントローラと接続している USB ケーブルの COM ポート番号を選択し、「OK」をクリックします。

新規

☐ オフラインで実行する
新規作成から実行する

コントローラ ECR

インタフェース仕様 PIO

シリーズ EBS

サイズ 04

取付方向 MD

リード 06

ストローク 0050

ファイルを開いて実行する
ファイルを開く

☒ オンラインで実行する

通信ポートの選択 COM10

OK キャンセル

5. ECG-A コントローラとの接続に成功すると、「装置の状態」に ECG-A コントローラと電動アクチュエータの状態が表示され、「通信ステータスバー」が「オンライン」状態に切り替わります。

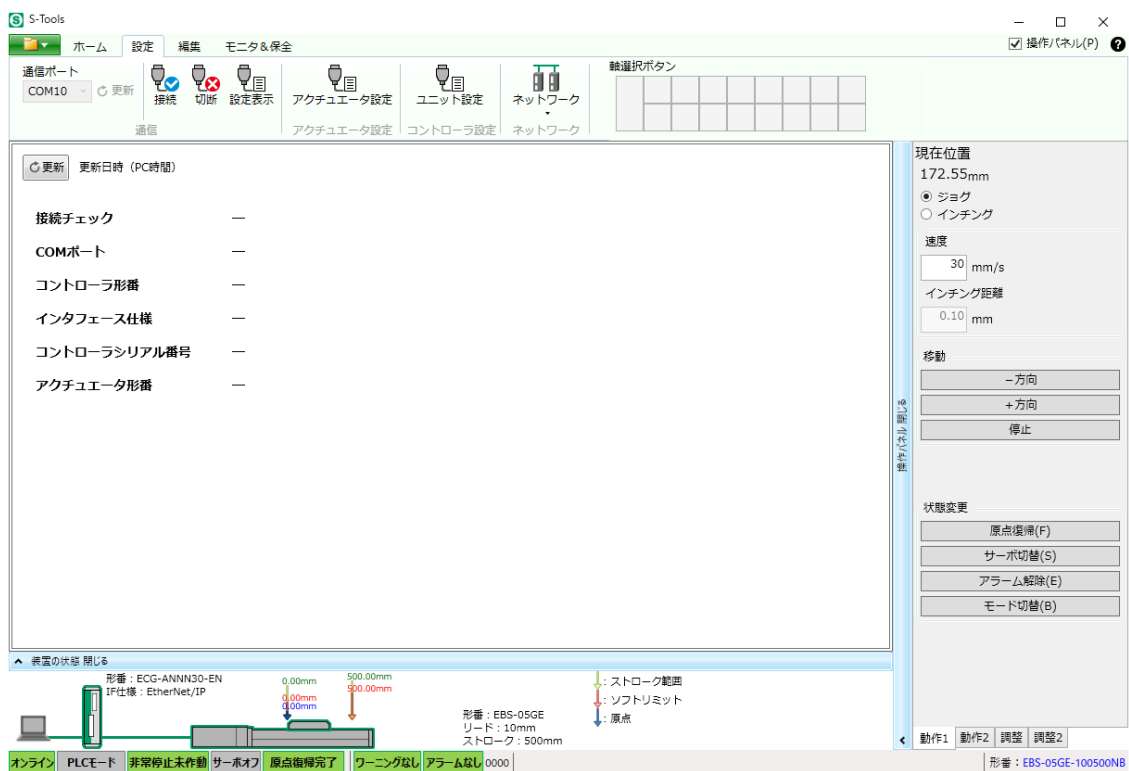


IP アドレスと EtherNet/IP の設定

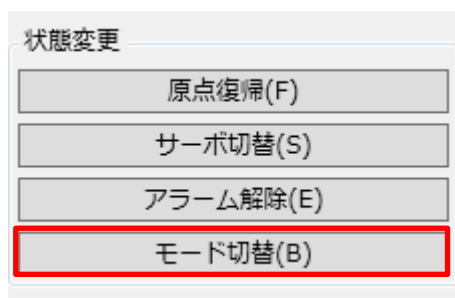
1. 「通信ポートを設定する」をクリックします。



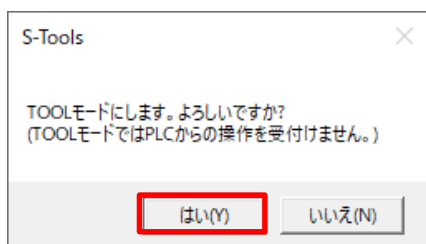
2. 「設定」タブの画面に切り替わります。



3. 「状態変更」－「モード切替」をクリックします。



4. ダイアログが表示されるので、内容を確認して「はい」をクリックします。



5. 「通信ステータスバー」の表示から、「TOOL モード」へ切り替わったことを確認します。



6. 「設定」－「ネットワーク」－「EtherNet/IP 設定」をクリックします。



7. 「EtherNet/IP 設定」ビューが起動しますので、下記の様に設定し、「書き込み」をクリックします。

読み出し **書き込み**

通信設定(書き込み値)

☒ DHCP無効(次のIPアドレスを使う)

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 10

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ: 0 . 0 . 0 . 0

☐ DHCP有効(IPアドレスを自動的に取得する)

IPアドレス: 0.0.0.0

サブネットマスク: 0.0.0.0

デフォルトゲートウェイ: 0.0.0.0

通信設定(読み出し値)

占有バイト数: *** バイト

「占有バイト数」はECMGシリーズ使用時のみ読み出せます。

動作モードの設定

☒ ECGシリーズ設定、ECMGシリーズ一括設定

PIO ***

☐ ECMGシリーズ個別設定

各ユニット設定

通信設定 (書き込み値)

- ・DHCP: 無効
- ・IP アドレス: 192.168.1.10
- ・サブネットマスク: 255.255.255.0

動作モードの設定

- ・ECG シリーズ設定、ECMG シリーズ一括設定: PIO

8. ダイアログが表示されるので、内容を確認して「はい」をクリックします。

S-Tools

完了しました。ソフトウェアリセットを実行しますか？
(実行しない場合、電源再起動が必要なパラメータの設定内容が有効になりません。)

はい(Y) いいえ(N)

9. ソフトウェアリセット後、オフラインに切り替わります。その後、オンラインに復帰し、PLC モードであることを確認します。

装置の状態 閉じる

形番: ***
IF仕様: ***

ストローク範囲
ソフトリミット
原点

形番: ***
リード: ***
ストローク: ***

オフライン

↓

装置の状態 閉じる

形番: ECG-ANNN30-EN
IF仕様: EtherNet/IP

0.00mm
0.00mm
0.00mm


500.00mm
500.00mm

ストローク範囲
ソフトリミット
原点

形番: EBS-05GE
リード: 10mm
ストローク: 500mm

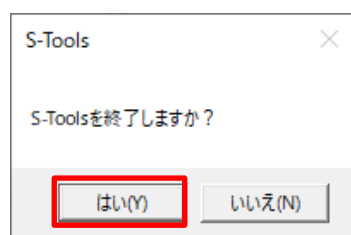
オンライン **PLCモード** 非常停止未作動 サーボオフ 原点復帰完了 ワーニングなし アラームなし 0000

10. S-Tools を終了します。

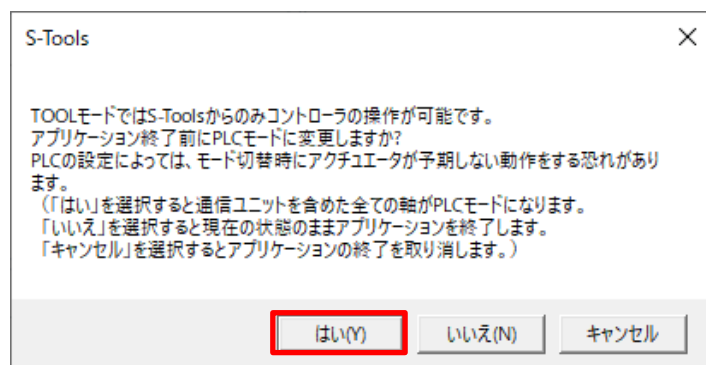
ツールバーの「」をクリックし、表示されたメニューの中から「アプリケーションの終了」をクリックします。



11. ダイアログが表示されるので、内容を確認して「はい」をクリックします。



12. ダイアログが表示されるので、内容を確認して「はい」をクリックします。



13. ECG-A コントロールユニットに接続されている電源を OFF し、USB ケーブルを取り外してください。

FP0H コントロールユニットの設定

FP0H でのアドレス割り付け

本書では、ECG-A コントローラで割り当てられているアドレスに対して、FP0H のメモリエリアを EtherNet/IP の通信エリアとして、下記のアドレスを設定します。

・入力情報 (ECG → FP0H)

FP0H アドレス		項目	割り付けデータ	データサイズ
WR0	R0～R3	ポイント番号選択ビット 0～3 / アラーム確認ビット 0～3	出力データ 動作モード (EtherNet/IP) : 0	64Byte
	R4～R5	ポイント番号選択ビット 4～5		
	R6	ポイント移動完了		
	R7	選択出力 1		
	R8	選択出力 2		
	R9	原点復帰完了		
	RA	サーボ ON 状態		
	RB	アラーム		
	RC	運転準備完了		
	RD	データ応答		
	RE	データ完了		
	RF	データ書き込み状態		
WR1～WR3	R10～R3F	—		
WR4～WR5	R40～R5F	読出しデータ		
WR6～WR7	R60～R7F	データ (アラーム)		
WR8～WR31	R80～R31F	—		

・出力情報 (ECG ← FP0H)

FP0H アドレス		項目	割り付けデータ	データサイズ
WR32	R320～R325	ポイント番号選択ビット 0～5	入力データ 動作モード (EtherNet/IP) : 0	64Byte
	R326	ポイント移動開始		
	R327	JOG(-)移動開始		
	R328	JOG(+)移動開始		
	R329	原点復帰開始		
	R32A	サーボ ON		
	R32B	アラームリセット		
	R32C	停止		
	R32D	—		
	R32E	データ要求		
	R32F	データ RW 選択		
WR33～WR35	R330～R35F	—		
WR36～WR37	R360～R37F	書き込みデータ		
WR38～WR40	R380～R40F	データ番号		
WR41～WR63	R410～R63F	—		

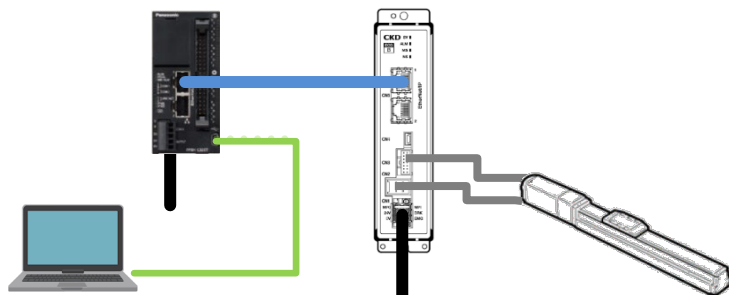
WR は内部リレー (R) を 16 点まとめて扱うデバイスです。

1 デバイスにつき 1 ワード (16bit) のデータとなるため、1 デバイスにつき 2byte のデータとも表記できます。

ECG-A コントローラのアドレス割り付けと動作に関する詳細については、「ECG シリーズ 電動アクチュエータ用コントローラ EtherNet/IP 取扱説明書」(SM-A40833/5) の「3.4.5 PIO モードのサイクリックデータ詳細」をご確認ください。

ツールソフトの起動

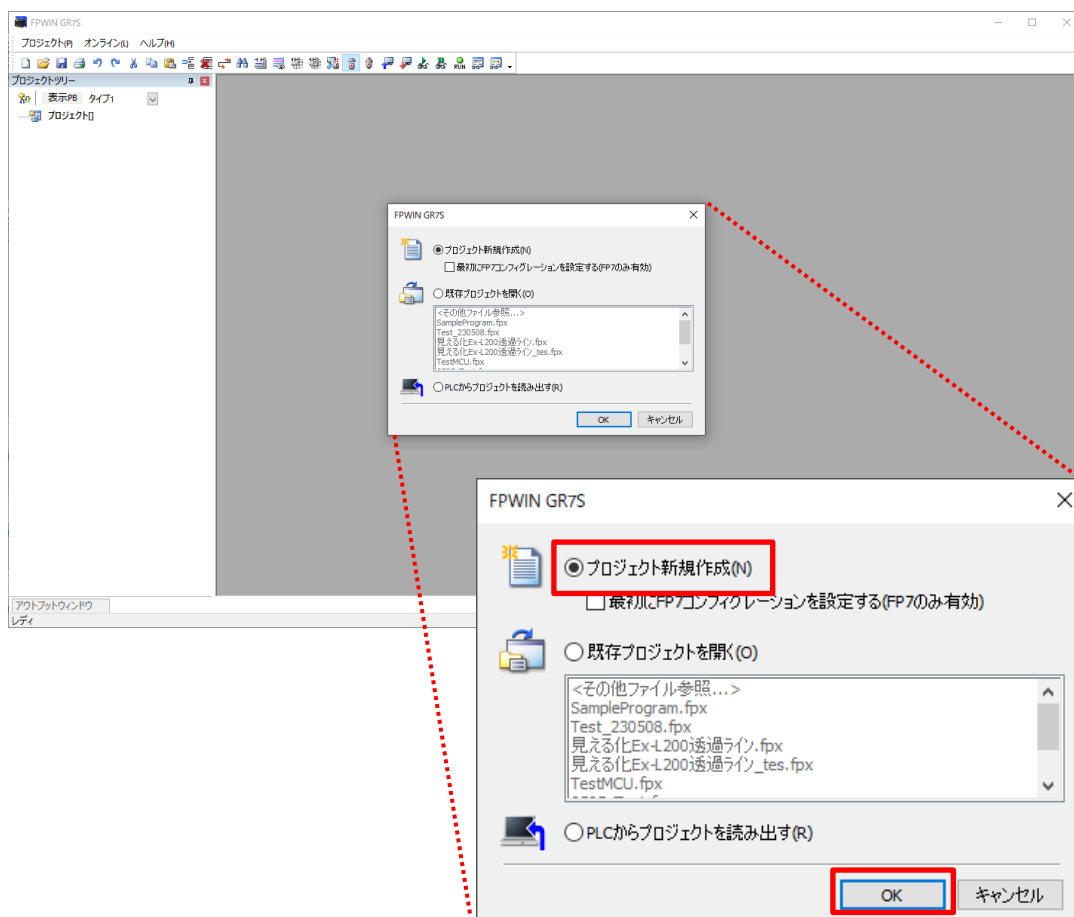
1. 下記の接続が問題ないことを確認し、すべての機器の電源を ON します。
 - ・ FP0H コントロールユニットと ECG-A コントローラの LAN 接続。
 - ・ FP0H コントロールユニットと電源の接続。
 - ・ パソコンと FP0H コントロールユニットの接続。



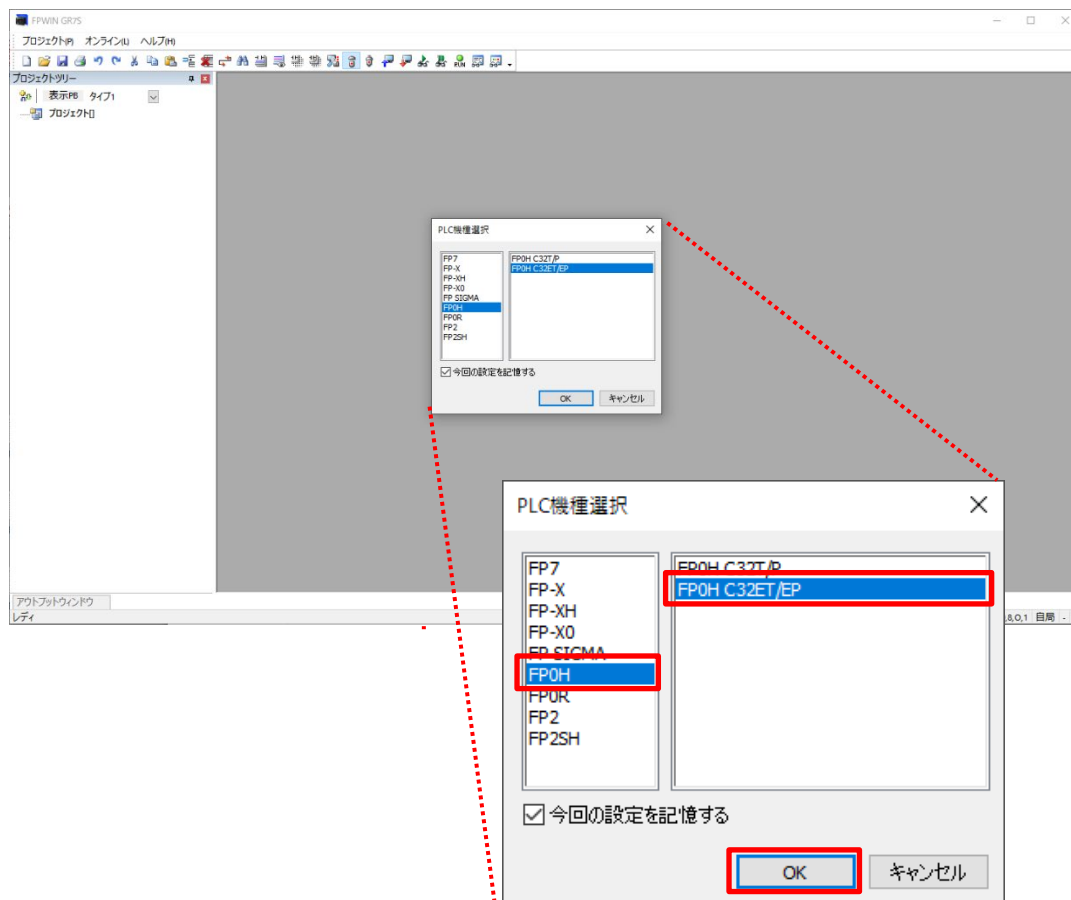
2. Control FPWIN GR7S を起動します。



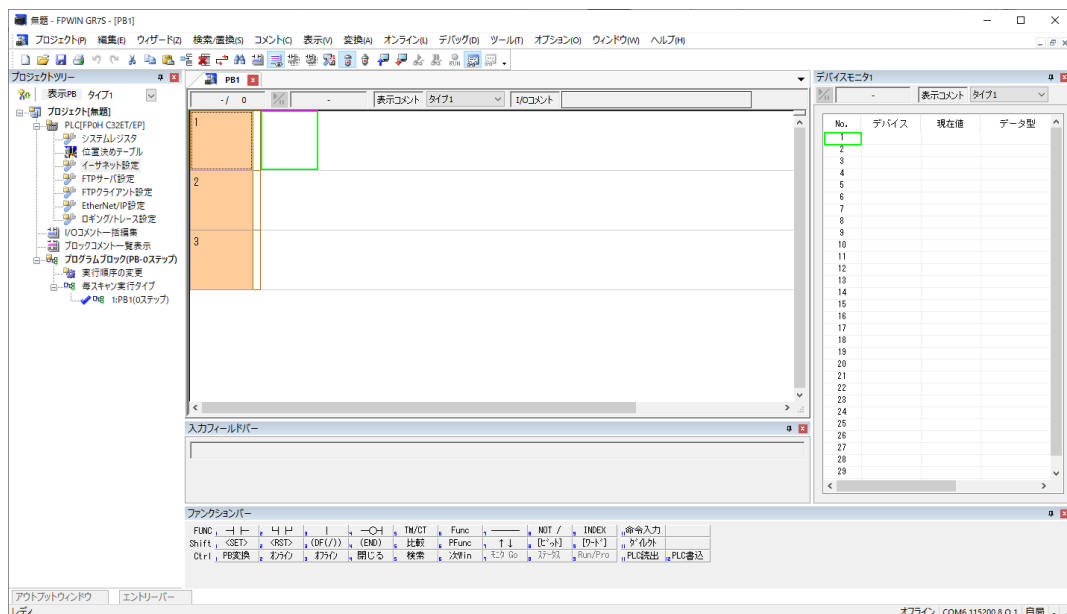
3. 起動画面が表示されます。
「プロジェクトの新規作成」を選択し、「OK」をクリックします。



4. 「PLC 機種選択」のダイアログが表示されます。
「FP0H」－「FP0H C32ET/EP」を選択し、「OK」をクリックします。

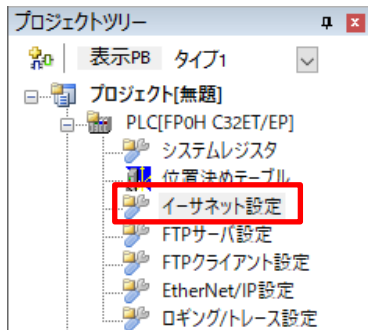


5. 編集画面が表示されます。

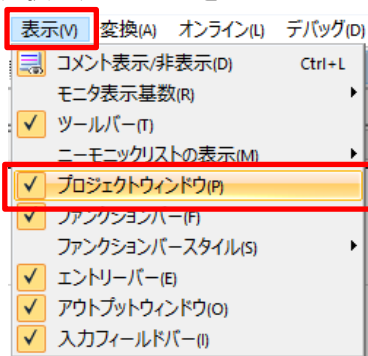


IP アドレスの設定

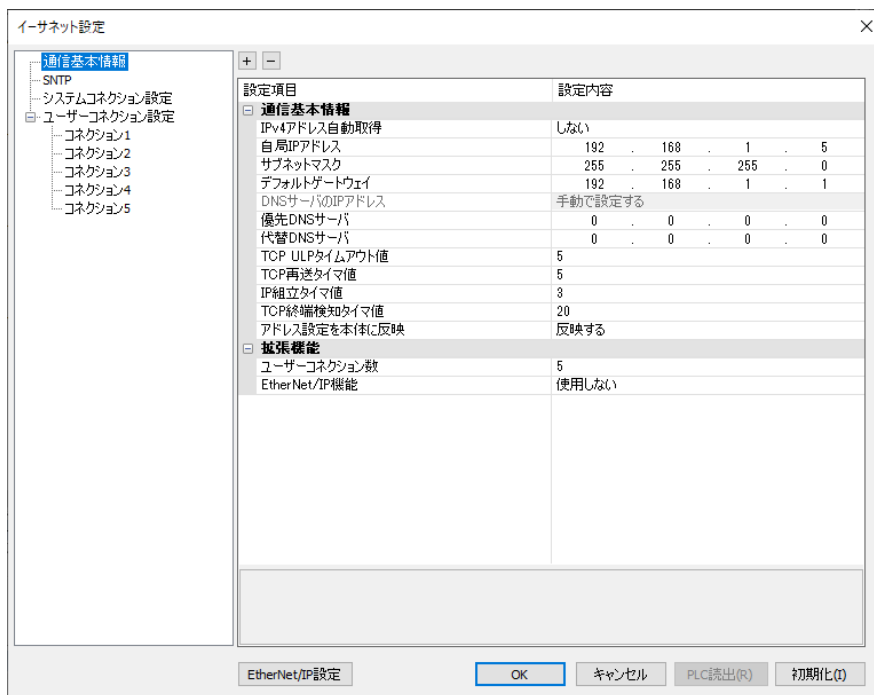
1. 「プロジェクトツリー」から「イーサネット設定」を選択します。



※「プロジェクトツリー」が表示されていない場合は、ツールバーの「表示」から「プロジェクトウインドウ」を選択し、チェックを入れてください。



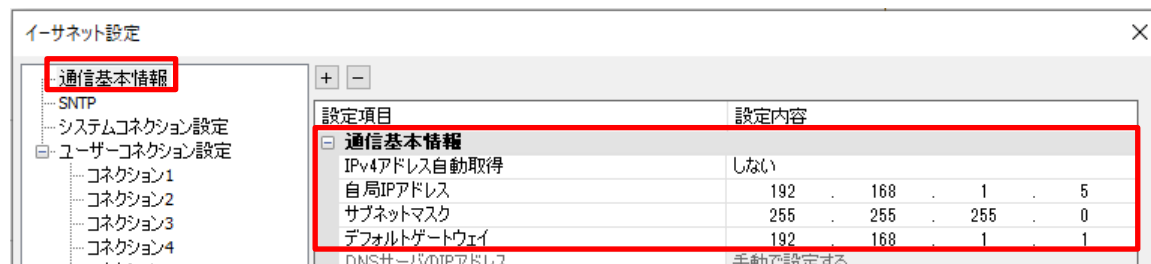
2. 「イーサネット設定」画面が表示されます。



3. 「通信基本情報」－「通信基本情報」の設定を下記の様に設定します。

- ・IPv4 アドレス自動取得：しない
- ・ 局 IP アドレス：192.168.1.5
- ・ サブネットマスク：255.255.255.0
- ・ デフォルトゲートウェイ：192.168.1.1

本資料では初期値を使用しています。



設定項目	設定内容
通信基本情報	
IPv4アドレス自動取得	しない
局IPアドレス	192 . 168 . 1 . 5
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
DNSサーバーのIPアドレス	手動で設定する

EtherNet/IP の設定

1. IP アドレス設定後、「通信基本情報」－「拡張機能」から、「EtherNet/IP 機能」を「使用する」に変更し、「EtherNet/IP 設定」をクリックします。

イーサネット設定

通信基本情報

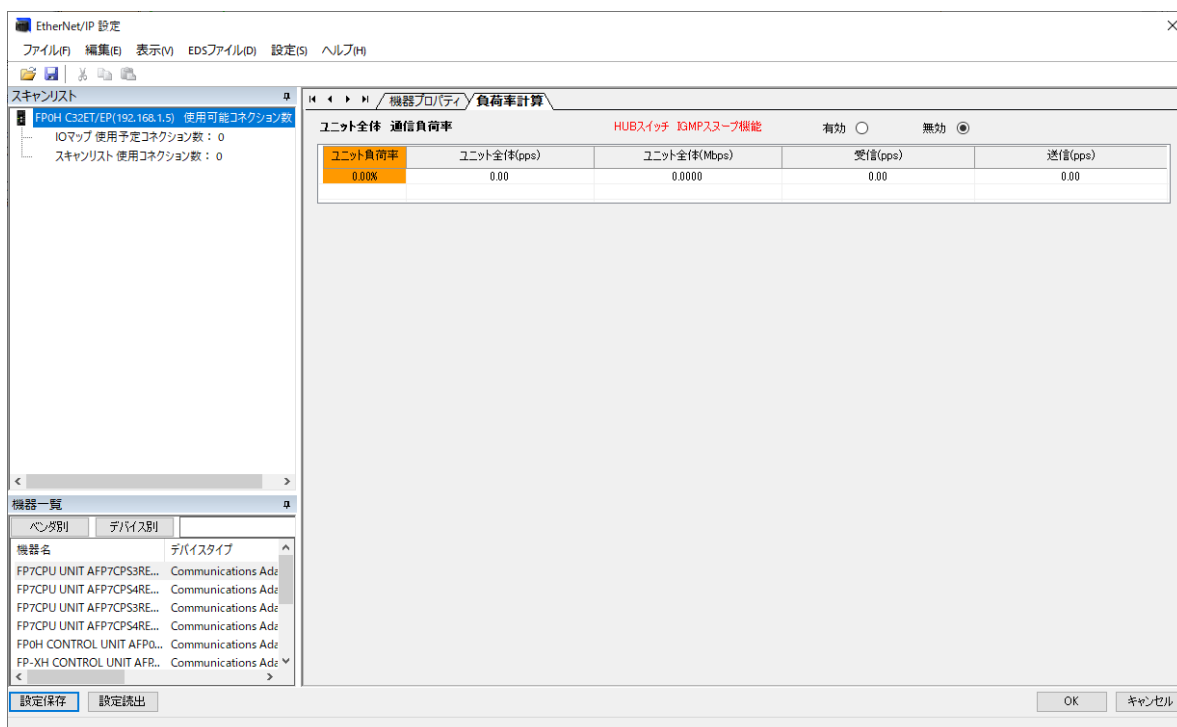
- SNTP
- システムコネクション設定
- ユーザーコネクション設定
 - コネクション1
 - コネクション2
 - コネクション3
 - コネクション4
 - コネクション5

設定項目	設定内容
通信基本情報	
IPv4アドレス自動取得	しない
自局IPアドレス	192 . 168 . 1 . 5
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
DNSサーバのIPアドレス	手動で設定する
優先DNSサーバ	0 . 0 . 0 . 0
代替DNSサーバ	0 . 0 . 0 . 0
TCP ULPタイムアウト値	5
TCP再送タイム値	5
IP組立タイム値	3
TCP終端検知タイム値	20
アドレス設定を本体に反映	反映する
拡張機能	
ユーザーコネクション数	5
EtherNet/IP機能	使用する

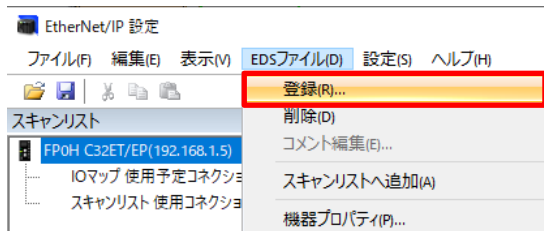
EtherNet/IP機能
EtherNet/IP機能の使用する/しないを指定します。〈使用しないへ変更する際にはEtherNet/IP設定内容が失われますのでご注意ください〉

EtherNet/IP設定 OK キャンセル PLC読出(R) 初期化(I)

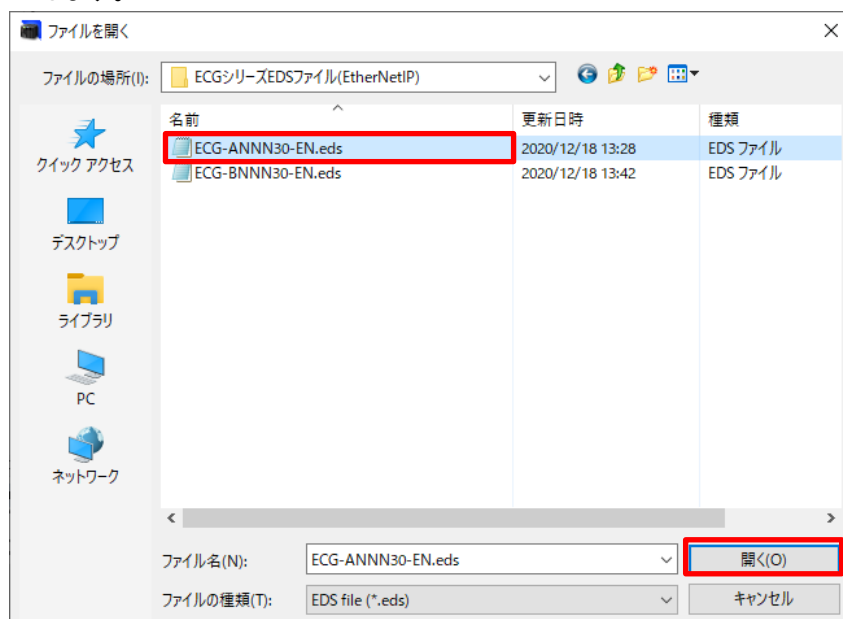
2. 「EtherNet/IP 設定」画面が開きます。



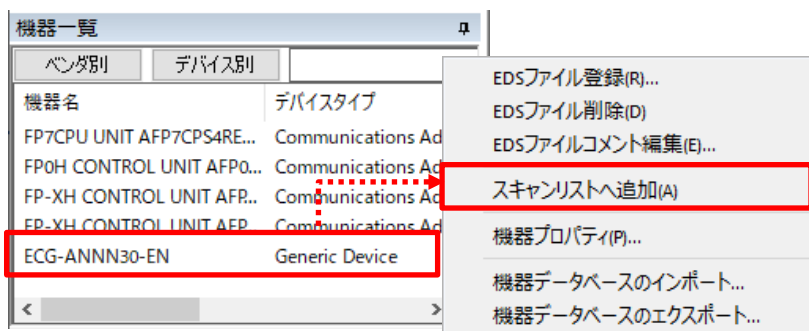
3. メニューバーから「EDS ファイル」－「登録」をクリックします。



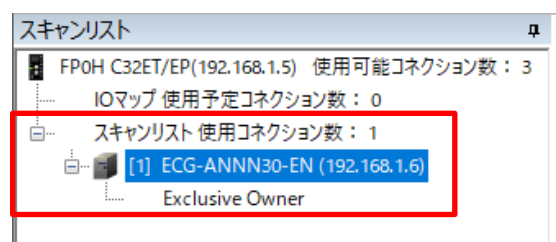
4. ダイアログが表示されるので、保存した EDS ファイル「ECG-ANNN30-EN.eds」を選択し、「開く」をクリックします。



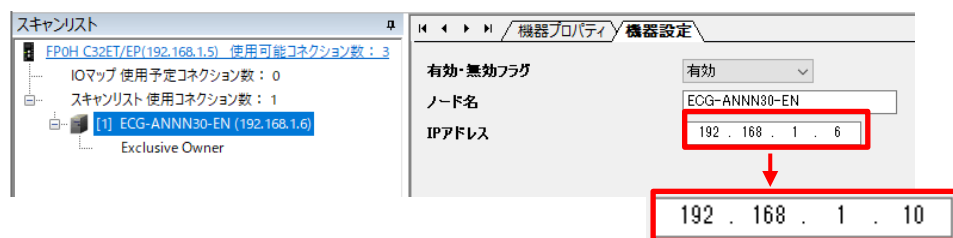
5. 「機器一覧」から「ECG-ANNN30-EN」を選択し、右クリックをして「スキャンリストへ追加」をクリックします。



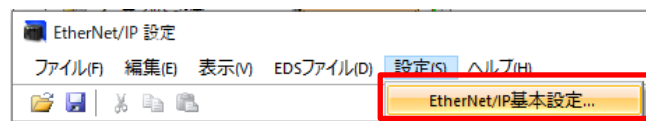
6. スキャンリストに「[1] ECG-ANNN30-EN (192.168.1.6)」が登録されました。



7. スキャンリストの「[1] ECG-ANNN30-EN (192.168.1.6)」を選択し、「機器設定」タブから「IP アドレス」を通信ユニットに設定した値の「192.168.1.10」を設定します。



8. ツールバーの「設定」－「EtherNet/IP 基本設定」をクリックします。



9. 「EtherNet/IP 基本設定」のダイアログが表示されます。
「自動割付」を「しない」に設定をし、「OK」をクリックします。

10. スキャンリストの「Exclusive Owner」をクリックします。

11. 「入力情報 (T>O)」から下記のデバイス割付欄を選択し、「編集」をクリックします。

入力情報 (T>O)

RPI (1.0~10000ms) ms

コネクションタイプ

インスタンスID

データサイズ Word

デバイス割付

	先頭デバイス	サイズ	オフセット
1	LD0	32	0
2			
3			
4			

合計データサイズ: 32 Word 残りデータサイズ: 0 Word

追加 編集 削除

12. 「デバイス割付」のダイアログが表示されます。
「デバイス割付: WR」に変更し、「登録」をクリックします。

デバイス割付

No

デバイス種別

デバイス番号

データサイズ Word

オフセット Word

登録 キャンセル

→

デバイス割付

No

デバイス種別

デバイス番号

データサイズ Word

オフセット Word

登録 キャンセル

※「データサイズ」には、「出力データ動作モード(EtherNet/IP): 0」の通信エリアとして割り当てた WR の合計サイズを「word」で指定しています。

13. 「入力情報」が更新されました。

入力情報 (T>O)

RPI (1.0~10000ms) ms

コネクションタイプ

インスタンスID

データサイズ Word

デバイス割付

	先頭デバイス	サイズ	オフセット
1	WR0	32	0
2			
3			
4			

合計データサイズ: 32 Word 残りデータサイズ: 0 Word

追加 編集 削除

14. 「出力情報 (O>T)」から下記のデバイス割付欄を選択し、「編集」をクリックします。

出力情報 (O>T)

RPI (1.0~10000ms) ms

インスタンスID

データサイズ Word

デバイス割付

	先頭デバイス	サイズ	オフセット
1	LD32	32	0
2			
3			
4			

合計データサイズ: 32 Word 残りデータサイズ: 0 Word

追加 編集 削除

15. 「デバイス割付」のダイアログが表示されます。
「デバイス割付：WR」に変更し、「登録」をクリックします。

The first screenshot shows the 'Device Allocation' dialog box with the following values: No. 1, Device Type: LD, Device Number: 32, Data Size: 32 Word, Offset: 0 Word. The 'Register' button is visible at the bottom.

The second screenshot shows the same dialog box, but 'WR' is selected for 'Device Type'. The 'Register' button is now highlighted with a red box.

※「データサイズ」には、「入カデータ動作モード(EtherNet/IP)：0」の通信エリアとして割り当てた WR の合計サイズを「word」で指定しています。

16. 「出力情報」が更新されました。

The 'Output Information' dialog box shows the following values: RPI (1.0~10000ms): 50.0 ms, Instance ID: 102, Data Size: 32 Word. The 'Device Allocation' table has the following data:

	先頭デバイス	サイズ	オフセット
1	WR32	32	0
2			
3			
4			

The 'Register' button is highlighted with a red box. The summary at the bottom shows: 合計データサイズ: 32 Word, 残りデータサイズ: 0 Word.

17. 「OK」をクリックします。

The 'EtherNet/IP 設定' window shows the following values: RPI (1.0~10000ms): 50.0 ms, Connection Type: Point to Point, Instance ID: 101, Data Size: 32 Word. The 'Device Allocation' table has the following data:

	先頭デバイス	サイズ	オフセット
1	WR0	32	0
2			
3			
4			

The 'OK' button is highlighted with a red box. The summary at the bottom shows: 合計データサイズ: 32 Word, 残りデータサイズ: 0 Word.

18. 「OK」をクリックします。

イーサネット設定

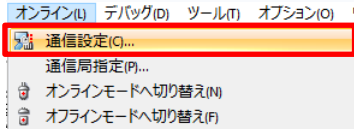
通信基本情報
SNTP
システムコネクション設定
ユーザーコネクション設定
コネクション1
コネクション2
コネクション3
コネクション4
コネクション5

設定項目	設定内容
<input checked="" type="checkbox"/> 通信基本情報	
IPv4アドレス自動取得	しない
自局IPアドレス	192 . 168 . 1 . 5
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 1 . 1
DNSサーバのIPアドレス	手動で設定する
優先DNSサーバ	0 . 0 . 0 . 0
代替DNSサーバ	0 . 0 . 0 . 0
TCP ULPタイムアウト値	5
TCP再送タイム値	5
IP確立タイム値	3
TCP終端検知タイム値	20
アドレス設定を本体に反映	反映する
<input checked="" type="checkbox"/> 拡張機能	
ユーザーコネクション数	5
EtherNet/IP機能	使用する

EtherNet/IP設定
OK
キャンセル
PLC読出(R)
初期化(I)

プロジェクトデータのダウンロード

1. メニューバーの「オンライン」－「通信設定」をクリックします。

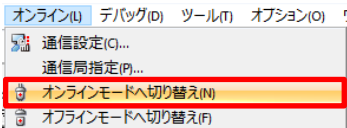


2. 「通信タイプ：COM(USB)」、「ポート(No.)：PIDSX PLC USB-COM (COM*)」が選択されていることを確認し「OK」をクリックしてください。

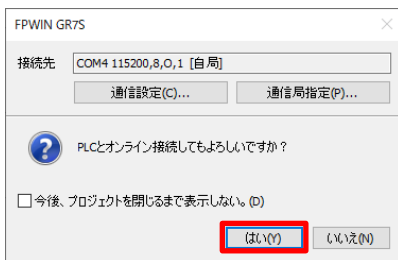
COM*には、FP0Hに割り付けられたCOMポート番号が表示されます。



3. メニューバーの「オンライン」－「オンラインモードへ切り替え」をクリックします。



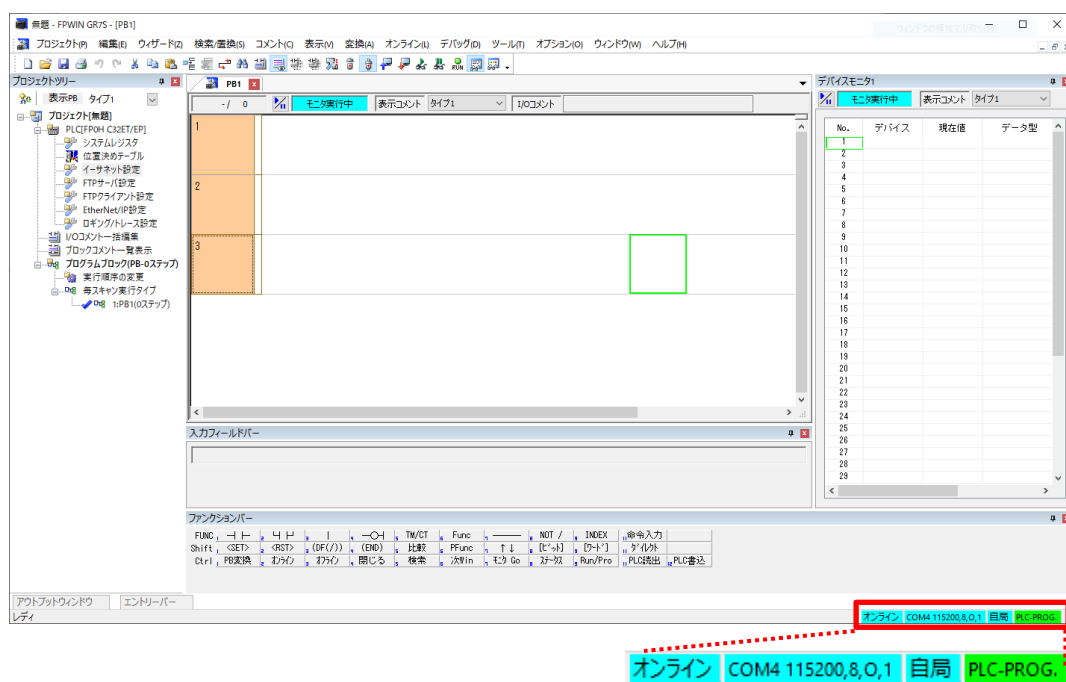
4. ダイアログが立ち上がるので、「はい」をクリックします。



- ※. 接続先のFP0H本体に別のプロジェクトデータが保存されている場合、下図のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。



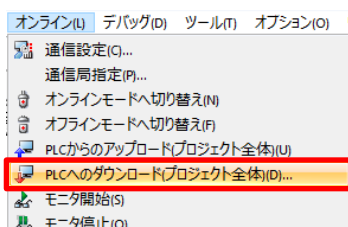
5. オンラインに切り替わると、ウィンドウ下部の表示がオンラインに切り替わります。



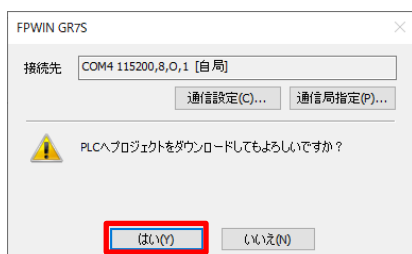
※PLC の動作状態が下図の様に RUN モードになっている場合、メニューバーの「オンライン」－「PLC 動作モードの切り替え」をクリックして PROG モードに切り替えを行ってください。

オンライン COM4 115200,8,O,1 自局 PLC-RUN

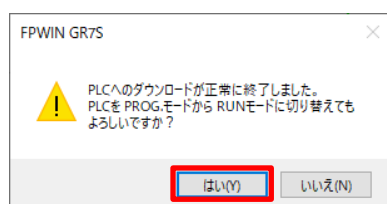
6. メニューバーの「オンライン」－「PLC へのダウンロード (プロジェクト全体)」をクリックします。



7. ダイアログが立ち上がるので、「はい」をクリックします。



8. ダウンロードが実行され、ダイアログが表示されるので「はい」をクリックします。

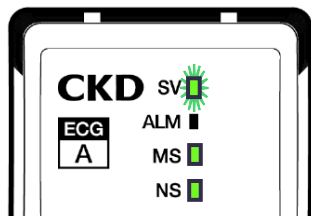


3. EtherNet/IP 接続確認

動作表示灯による確認

ECG 動作表示灯の確認

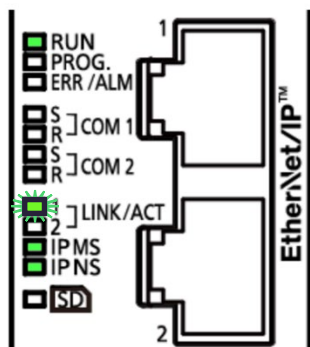
正常に EtherNet/IP の通信が行われている場合、ECG の LED は下図の様になります。



名称	LED 状態
SV	緑点滅 (サーボ OFF)
ALM	消灯
MS	緑点灯
NS	緑点灯

FP0H 動作表示灯の確認

正常に EtherNet/IP の通信が行われている場合、FP0H の LED は下図の様になります。

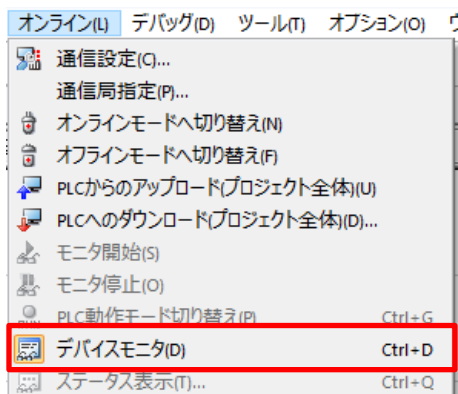


名称	LED 状態
RUN	緑点灯
LINK/ACT 1	緑点滅 (LAN ポート 1 を使用している場合)
IP MS	緑点灯
IP NS	緑点灯

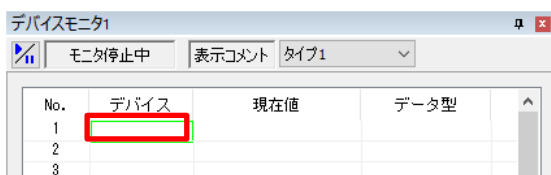
入力のモニタによる確認

Control FPCWIN GR7S のデバイスモニタを使用し、「通信ユニット状態領域」の状態を確認します。

1. デバイスモニタウインドウが表示されていない場合、メニューバーの「オンライン」から「デバイスモニタ」をクリックし、チェックを入れます。

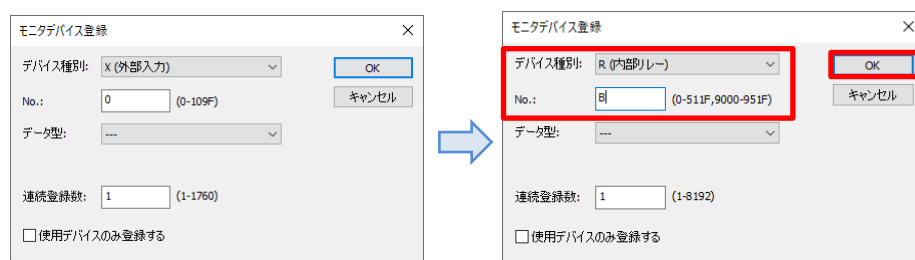



2. デバイスモニタウインドウの下図の欄をダブルクリックします。

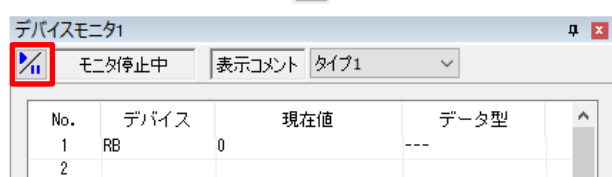


3. 「モニタデバイス登録」画面が表示されます。
下右図の様に設定し、「OK」をクリックします。

- ・ デバイス種別 : R (内部リレー)
- ・ No. : B



4. 登録が完了したので、「」をクリックしてオンラインモニタを開始します。



5. デバイスマニタの表示を確認します。

各機器が正常に動作している場合、下記の bit が ON している状態となります。

デバイスモニタ			
モニタ実行中		表示コメント	タイプ1
No.	デバイス	現在値	データ型
1	RB	1	---
2			
...			

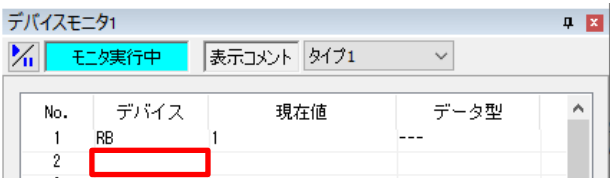
	FP0H アドレス	項目	
入力情報 (ECG→FP0H)	RB	アラーム	0 : 発生中、1 : 未発生

出力制御による確認

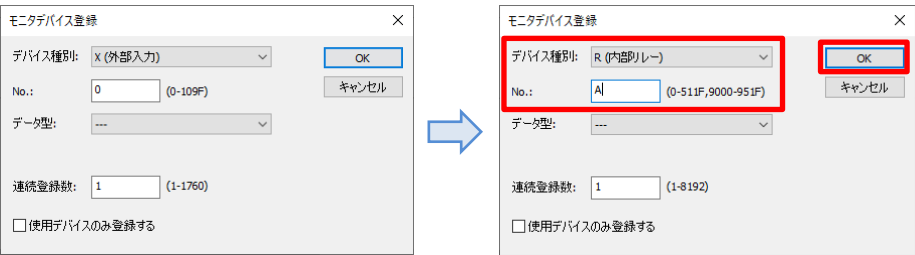
Control FPCWIN GR7S のデバイスモニタを使用し、サーボ ON / OFF の動作を確認します。

サーボ ON 操作

1. デバイスモニタウィンドウの下図の欄をダブルクリックします。



2. 「モニタデバイス登録」画面が表示されるので、「RA」の登録を行います。
下右図の様に設定し、「OK」をクリックします。
- ・デバイス種別：R（内部リレー）
 - ・No.：A



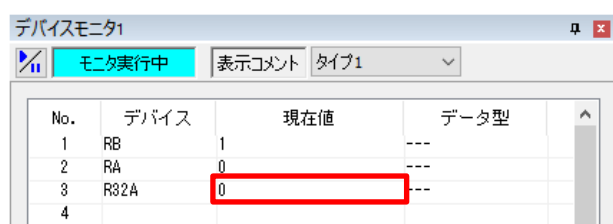
同様に「R32A」の登録を行います。

3. 登録が完了していることを確認します。



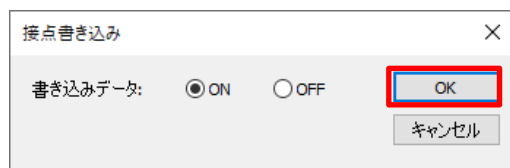
	FP0H アドレス	項目	
入力情報 (ECG→FP0H)	RA	サーボ ON 状態	0 : OFF 状態、1 : ON 状態
出力情報 (ECG←FP0H)	R32A	サーボ ON	0 : 解除、1 : サーボ ON

4. 「R32A」の「現在値」欄をダブルクリックします。

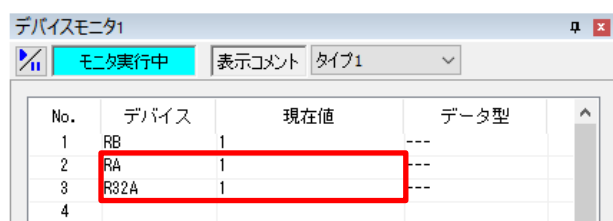


No.	デバイス	現在値	データ型
1	RB	1	---
2	RA	0	---
3	R32A	0	---
4			

5. ダイアログが表示されるので、「書き込みデータ：ON」が選択されていることを確認して「OK」をクリックします。
この操作で、「R32A」の状態を「1 (ON)」に変更します。

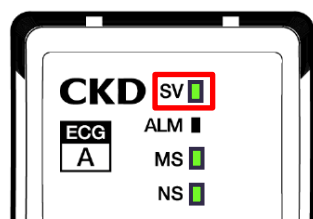


6. 「R32A」の現在値が「1」になり、「RA」の現在値も「1」となることを確認します。



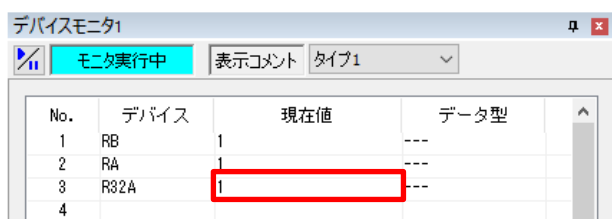
No.	デバイス	現在値	データ型
1	RB	1	---
2	RA	1	---
3	R32A	1	---
4			

7. ECG-A コントローラのLED「SV」が緑点灯していることを確認します。



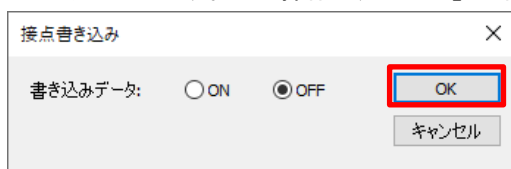
サーボ OFF 操作

1. 「R32A」の「現在値」欄をダブルクリックします。



No.	デバイス	現在値	データ型
1	RB	1	---
2	RA	1	---
3	R32A	1	---
4			

2. ダイアログが表示されるので、「書き込みデータ：OFF」が選択されていることを確認して「OK」をクリックします。この操作で、「R32A」の状態を「0（OFF）」に変更します。



接点書き込み

書き込みデータ: ☐ ON ☒ OFF

OK

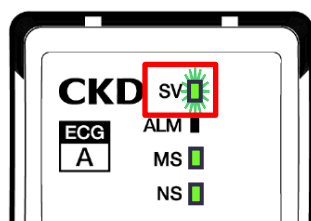
キャンセル

3. 「R32A」の現在値が「0」になり、「RA」の現在値も「0」となることを確認します。



No.	デバイス	現在値	データ型
1	RB	1	---
2	RA	0	---
3	R32A	0	---
4			

4. ECG-A コントローラの LED 「SV」 が緑点滅していることを確認します。



本資料での EtherNet/IP の接続手順および接続確認の説明は以上です。

改訂履歴

発行日時	番号	改訂内容
2024 年 02 月	Gts419a	初版

●技術に関するお問い合わせは

FAデバイス技術相談窓口



0120-394-205

※受付時間／9:00 ～ 17:00(12:00～13:00、弊社休業日を除く)

Webサイト industrial.panasonic.com/ac/

パナソニック インダストリー株式会社 産業デバイス事業部

〒574-0044 大阪府大東市諸福7丁目1番1号

© Panasonic Industry Co., Ltd. 2024

本書からの無断の複製はかたくお断りします。2024 年 02 月

No.gts419ja